

第14回町田市市民協働フェスティバル 「まちカフェ！」実施報告書

2021年3月26日

作成：「まちカフェ！」事務局

（一般財団法人 町田市地域活動サポートオフィス）

目次

I. 実施目的と概要	P 3～5
II. 広報実施報告	P 6～7
III. 「まちカフェ！」10days 報告	
(1) スペシャルイベント	P 8～9
(2) 各団体主催イベント	P 10～16
IV. 実行委員会報告	P 17～18
V. 「まちカフェ！」参加団体向けスキルアップ講座報告	P 19
VI. 学生おうえん隊実施報告	P 20～25
VII. ヒアリング報告	P 26～30
資料1 参加団体・協力団体一覧	
資料2 第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」 アンケート報告書	
資料3 第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」収支決算書 監査報告書	

I. 実施目的と概要

1. 実施目的と概要

(1) 事業名称

第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

(2) 主催

第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」実行委員会

(3) 事業の目的

町田市内で活動する市民活動団体（NP0）、地域活動団体（町内会・自治会）などの活動発表の場を提供し、来場者やボランティアがそれらの団体について知る機会を設けること。また、実施までの過程を通じて、団体が他団体や行政と協働を始めるきっかけを創出すること。

〈参加団体に対しての開催目的〉

他団体との出会いや交流、イベント参加者等に知ってもらうための場づくり

「まちカフェ！」を通じてスキルアップできる機会の提供

〈イベント等参加者に対しての開催目的〉

参加団体を知り、地域で活動するきっかけを作る場づくり

〈ボランティア（おうえん隊）に対しての開催目的〉

「まちカフェ！」の企画運営を通じた自己啓発の機会の提供

(4) 開催概要

10日間のオンラインならびに市内分散による「『まちカフェ！』10days」として開催。（例年は市庁舎での1日大規模開催だが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため）

日時：2020年12月4日（金）～13 日（日）

会場：オンライン・市内分散会場

主催：「まちカフェ！」実行委員会

テーマ：今こそ見せよう町田の底力～未来へつなぐ新たな挑戦～

2. 広報実施報告

詳細は、本報告書 P6～P7

3. 「まちカフェ！」10days 報告

(1) 来場者数

2002名

(2) スペシャルイベント

詳細は、本報告書P8～9

(3) 各団体主催イベント

オンラインイベント12件、リアルイベント20件、

活動紹介動画制作・発表16団体

詳細は、本報告書 P10～16

4. 実行委員会・協力団体

(1) 実行委員会の構成

「まちカフェ！」実行委員会は、出展団体・おうえん隊（企画等を実施する個人ボランティア）・事務局で構成される。

実行委員会数

参加団体65団体

事務局2団体（町田市市民部市民協働推進課、町田市地域活動サポートオフィス）

おうえん隊3名（内個人2名、団体参加者1名）・学生おうえん隊8名

役員

実行委員長 大月徹

副実行委員長 加藤賢行

監事 伊藤幾夫（町田市ボランティア連絡協議会）

事務局 町田市市民部市民協働推進課 課長 中坪裕一

町田市地域活動サポートオフィス 事務局長 喜田亮子

(2) 協力団体・個人

・広告協賛 6団体

・場所提供 2団体

・ボランティア 33名（おうえん隊以外の単発ボランティア）

詳細は資料1

(3) 実行委員会等開催

準備会1回、実行委員会6回、打ち上げ会1回を開催。すべてオンラインにて実施。
実行委員会は、毎回午後の部、夜の部と2回開催。

詳細は、本報告書P17～18

(4) まちカフェ！参加団体スキルアップ講座報告

オンライン実行委員会やまちカフェ！実行委員会のFacebookグループへの参加の促進、オンラインでの情報発信力強化を目的にスキルアップ講座を開催。

詳細は、本報告書P19

(5) 学生おうえん隊報告

本年度新たにおうえん隊の中に学生おうえん隊を組織し、8名の大学生を3団体にマッチングし「まちカフェ！」イベントの準備や当日の運営支援を実施。学生おうえん隊のフォローを参加団体の「へりぽーと」が担った。

詳細は、本報告書P20～P25

(6) ヒアリング報告

実行委員会参加団体10団体に本年度の振り返りと改善点へのヒアリングを実施。

詳細は、本報告書P26～P30

(7) アンケート報告

回答数：44件

集計結果は、資料2

(8) 決算報告

資料3

▼「まちカフェ！」協働ガイドブック（表紙）



▼「まちカフェ！」協働ガイドブック（中面）



▼ 生涯学習センター壁面における「まちカフェ！」PRブース
各団体のイベント情報チラシと共に「まちカフェ！」情報を約2か月に渡り掲示した。



Ⅲ.「まちカフェ！」10days 報告

1. スペシャルイベント

団体主催のイベント以外に、実行委員会が主体となり下記の通りスペシャルイベントを開催しました。

<シンボリック事業「まちカフェ！の森」>

開催日：11月30日（月）－12月11日（金） ※土日除く

開催場所：町田市庁舎1階みんなの広場

開催概要：「まちカフェ！」のシンボリックカラーである「緑」にちなみ、今年度の出展団体の紹介パネルを、様々な緑色の葉で装飾して森に見立て展示。

制作は色彩心理グリーンハートラボのみなさんが指揮を執り、おうえん隊、ボランティア等が多数参画して作成。期間中1,200人を越える方が来場。

<市庁舎ライトアップ>

開催日：12月2日（水）・9日（水）

開催場所：市庁舎

開催概要：「まちカフェ！」の認知拡大を狙い、「まちカフェ！の森」展示期間中の2日間、市庁舎をシンボリックカラーの緑色にライトアップした。

<「まちカフェ！」10days 開会式>

開催日：12月5日（土）

開催場所：オンライン

開催概要：市長挨拶、実行委員長挨拶以外に、おうえん隊や参加団体の方と緑のバトンリレーを行い「まちカフェ！」10days の開催紹介や活動アピールをした。

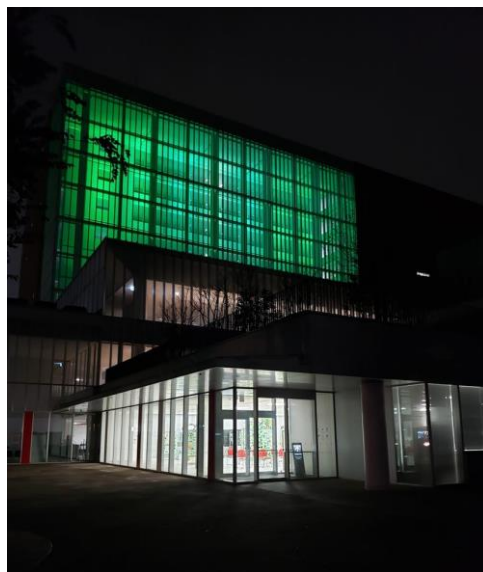
▼まちカフェ！の森（入口）



▼まちカフェ！の森（メイン展示）



▼市庁舎ライトアップ



▼開会式（市長挨拶）



2. 各団体主催イベント

<イベント実施概要>

内容	開催団体	参加人数
<p><タイトル>旅するボールペン・インクカートリッジプロジェクト</p> <p><開催日>12月3日-10日</p> <p><開催場所>町田市地域活動サポートオフィス</p> <p><内容></p> <p>ベトナムの子ども支援のための寄贈品としてボールペン、インクカートリッジの募集</p>	一般社団法人東京アジア応援計画	—
<p><タイトル>ゆどうふ作品展示会&販売会</p> <p><開催日>12月4日-13日(月水金)</p> <p><開催場所>ゆどうふフリースペース</p> <p><内容></p> <p>ひきこもりや生きづらさを抱えている若者を支援しているNPO法人ゆどうふが運営する居場所にて利用者による作品の展示と販売会</p>	NPO法人ゆどうふ	20人
<p><タイトル>整体×似顔絵</p> <p><開催日>12月4日-6日、11日-13日</p> <p><開催場所>ハンドシェイク事務所</p> <p><内容></p> <p>障害者就労移行支援事業所ハンドシェイクの利用者による予約制の整体と似顔絵の提供</p>	就労移行支援事業所 ハンドシェイク	22人
<p><タイトル>無料塾ってこんなところ！</p> <p><開催日>12月4日、6日、11日、12日、13日</p> <p><開催場所>オンライン</p> <p><内容></p> <p>鶴川で学習支援活動をしている無料塾結いの活動を動画で紹介した後に参加者と意見交換をするオンラインイベント</p>	つるかわ無料塾結い	13人

<p><タイトル>「陸上版カーリング『ユニカール』って何？作戦で参加しよう！」</p> <p><開催日> 12月5日、12日</p> <p><開催場所> オンライン</p> <p><内容></p> <p>5日 野津田競技場で実施した体験会をオンラインで配信</p> <p>12日 参加者とユニカールの良さと今後を話し合うオンラインイベント</p>	町田市ユニカール協会	27人
<p><タイトル>ちょこっと体験！話してみよう外国語</p> <p><開催日> 12月5日、12日</p> <p><開催場所> 町田国際交流センター</p> <p><内容></p> <p>外国人講師による韓国語、英語、スペイン語、中国語のミニ講座</p>	町田国際交流センター	22人
<p><タイトル>オリジナルメモ帳販売</p> <p><開催日> 12月5日、6日</p> <p><開催場所> アベ企画事務所</p> <p><内容></p> <p>印刷工業組合加盟事業者からでた端紙を再利用して制作したオリジナルメモ帳の販売。</p>	町田市印刷工業組合	28人
<p><タイトル>哲学対話モグオもパクコもみんなで考える！給食って何だろう？</p> <p><開催日> 12月5日</p> <p><開催場所> オンライン</p> <p><内容></p> <p>給食をテーマとしたオンライン哲学対話。愛知県からの参加者も参加。</p>	だるま×中学校によりよい給食とどけ隊@町田	3人
<p><タイトル>クリスマス飾りを作ろう！</p> <p><開催日> 12月5日</p> <p><開催場所> せりがや冒険遊び場</p> <p><内容>松ぼっくりを使ったクリスマスツリーづくりの子ども向けワークショップ</p>	NPO法人子ども広場あそべこどもたち	34人

<p><タイトル>チャリティートートバック販売会</p> <p><開催日>12月5日、6日</p> <p><開催場所>マチノワ</p> <p><内容></p> <p>不登校支援をしている「探求フリースクールマチラボ」の探究学習の一環で生徒がデザインし、町田の企業のファクトリーアクトが制作したチャリティートートバックの販売。</p>	探求フリースクール マチラボ	—
<p><タイトル>鎌倉街道口マン・ウォーク</p> <p><開催日>12月5日、6日</p> <p><開催場所>鎌倉街道現地</p> <p><内容></p> <p>宮田太郎氏ガイドによる「本町田から七国山」「野津田上ノ原から小野路宿」のウォークイベント。</p>	鎌倉古道・歴史遺産 の会	52人 (スタッフ除く)
<p><タイトル>終の住処を考えよう！</p> <p><開催日>12月5日、8日、12日</p> <p><開催場所>まちすま相談室</p> <p><内容></p> <p>建築の専門家による予約制の住宅のバリアフリー化等高齢期の住まいのあり方についての相談会。</p>	NPO法人町田すま いの会	9人
<p><タイトル>筆談で遊ぼう！</p> <p><開催日>12月6日</p> <p><開催場所>マチノワ</p> <p><内容></p> <p>耳の不自由な方とのコミュニケーション手段である筆談を簡単なゲームを通じて実践する体験会。持ち歩きできる手作りの筆談パッドも販売。</p>	町田要約筆記サークル かけはし	20人
<p><タイトル>ひとりでも大丈夫！終活のあれこれ</p> <p><開催日>12月6日、13日</p> <p><開催場所>オンライン</p> <p><内容></p> <p>終活でしておくべきことや、エンディングセンター・行政等で受けられるサポートについて解説するオンラインイベント。</p>	認定NPO法人エン ディングセンター	14人

<p><タイトル> 認知症本人と家族とサポーター交流会</p> <p><開催日> 12月6日</p> <p><開催場所> シバヒロ</p> <p><内容></p> <p>認知症本人と家族・サポーターの交流会。手作りアクセサリ ーやオーナメント等の販売や相撲甚句などのイベント。</p>	町田市認知症友の会	35人
<p><タイトル> まちだ旅する絵本で地域課題を考えよう！</p> <p><開催日> 12月6日</p> <p><開催場所> 町田パリオ</p> <p><内容></p> <p>「多くの人の元を旅する絵本」が、人と人とは繋がっていく キッカケになって欲しい、という願いで2020年8月から スタートした「まちだ旅する絵本」を地域課題解決にどう活 用するかを意見交換する対話イベント。</p>	まちだ旅する絵本実 行委員会	12人
<p><タイトル> カラーセラピーを体験してみませんか？</p> <p><開催日> 12月6日</p> <p><開催場所> 祥雲寺</p> <p><内容></p> <p>参加者が塗ったぬりえをもとに1対1のカウンセリングを カラーセラピーの体験会。</p>	色彩心理グリーンハ ートラボ	41人
<p><タイトル> 私たちのボランティアを語る</p> <p><開催日> 12月7日、8日</p> <p><開催場所> オンライン</p> <p><内容></p> <p>熊本と気仙沼での災害ボランティアをした法政大学の学生 による体験報告のFBのライブ配信。</p>	法政大学多摩ボラン ティアセンター	15人
<p><タイトル> 「まちだをつなげる30人」アクション宣言</p> <p><開催日> 12月8日</p> <p><開催場所> オンライン</p> <p><内容></p> <p>町田の企業・地域・行政などにより構成される「まちだをつ なげる 30 人」から生まれた8つのチームによるアクション 宣言を発表するオンラインイベント。</p>	町田市市民協働推進 課	203人

<p><タイトル> そもそもコソダテ。</p> <p><開催日> 12月9日</p> <p><開催場所> オンライン哲学対話</p> <p><内容></p> <p>子育てをテーマとしたオンライン哲学対話。</p>	だるま	8人
<p><タイトル> ガラスフュージングストラップ作り</p> <p><開催日> 12月10日</p> <p><開催場所> 薬師池公園四季彩の杜</p> <p><内容></p> <p>様々な形のガラスを好きな形にデザインして焼き付けるガラスフュージングのワークショップ。焼き付けた完成品は、後日郵送で参加者に届けられた。</p>	相原ガラスフュージング千の花	10人
<p><テーマ> 大人の哲学対話</p> <p><開催日> 12月11日</p> <p><開催場所> オンライン</p> <p><内容> パジャマをドレスコードに恋愛と結婚をテーマにしたオンライン哲学対話。</p>	だるま	3人
<p><テーマ> ビジュアライズ工作&傾聴</p> <p><開催日> 12月12日</p> <p><開催場所> ディーキャリア町田オフィス</p> <p><内容> 障害者就労移行支援事業所ディーキャリアに通う利用者による自分の未来を表すビジュアライズ工作ワークショップと傾聴体験。</p>	就労移行支援事業所 ディーキャリア町田 オフィス	18人
<p><テーマ> 福祉バザー</p> <p><開催日> 12月12日、13日</p> <p><開催場所> 町田木曾住宅「スーパーおおた」前</p> <p><内容></p> <p>障害福祉サービス事業所を運営するNPO法人クローバーによるリサイクル品と手作り品販売。</p>	NPO法人クローバーの会	10人
<p><テーマ> 給食パパママクロストーク！！</p> <p><開催日> 12月12</p> <p><開催場所> オンライン</p> <p><内容></p> <p>議員等をゲストに町田市の学校給食について参加者で意見交換を行うオンラインイベント。</p>	中学校によりよい給食とどけ隊@町田	28人

<p><テーマ>人生100年時代ポールウォーキングで健康寿命を延ばしましょう</p> <p><開催日>12月12日</p> <p><開催場所>町田シバヒロ</p> <p><内容></p> <p>専用のポールを使って歩くポールウォーキングの体験会。</p>	<p>まちだポールウォーキングクラブ</p>	<p>10人</p>
<p><テーマ>夢の国って本当にあるの？</p> <p><開催日>12月12日</p> <p><開催場所>オンライン</p> <p><内容></p> <p>「夢の国」をテーマにテーマパークについて対話するオンライン哲学対話。</p>	<p>だるま</p>	<p>2人</p>
<p><テーマ>みんなのステージ</p> <p><開催日>12月12日</p> <p><開催場所>せりがや冒険遊び場</p> <p><内容></p> <p>和光大学空手部OBによる演舞、和光大学の講師による自然のものを使った音の演奏、火おこし世界チャンピオンによる摩擦火おこしなどのステージイベント。</p>	<p>NPO法人子ども広場あそべこどもたち</p>	<p>出演者8人 観客60人</p>
<p><テーマ>一枚の紙から楽しいおもちゃを作ろう！</p> <p><開催日>12月12日</p> <p><開催場所>オンライン</p> <p><内容></p> <p>1枚のA4用紙を使って4種のおもちゃを作る親子向けオンラインワークショップ。</p>	<p>Toy-spice!</p>	<p>11人</p>

▼鎌倉街道口マン・ウォーク



▼オンライン哲学対話



<団体活動紹介動画配信>

団体名	内容
鎌倉古道・歴史遺産の会	ホームページ（活動紹介）
特定非営利活動法人環境修復保全機構	活動紹介動画（2分41秒）
NPO法人子ども広場あそべこどもたち	せりがや冒険遊び場ホームページ
色彩心理グリーンハートラボ	グリーンハートラボ団体紹介動画（43秒）
中学校によりよい給食とどけ隊@町田	町田もやろうよ！中学校全員給食（5分36秒）
成瀬お助けたい	成瀬お助けたいPRビデオ（11分36秒） ※ 現在非公開
ホームスタートいずみ	ホームスタートいずみ動画（53秒）
Power Chorus マチサガ！	コーラス動画（4分45秒他）
NPO法人町田演劇鑑賞会	団体紹介動画（5分6秒）
町田ボランティア連絡協議会	団体紹介PDF（動画準備中）
町田市ユニカール協会	スウェーデン生まれの陸のカーリング町田の『ユニカール』（団体紹介動画：3分24秒）
つるかわ無料塾 結い	団体紹介動画（1分54秒）
まちだポールウォーキングクラブ	クラブの紹介動画（28秒）
おうちでごはん（町田市社会福祉協議会・町田市）	活動紹介動画（1分24秒）
まちだサポーターズ	活動紹介動画（2分55秒）
トヨタモビリティ東京株式会社（協賛ご企業様）	トヨタモビリティ給電デモ動画（4分56秒）



▲つるかわ無料塾結い

▼町田演劇鑑賞会



IV. 実行委員会報告

開催日	内容	参加人数
6月18日 18:30-20:30	準備会 開催条件説明、開催方法に関する意見交換	21団体31名、事務局8名
7月16日 1. 13:30-15:30 2. 18:00-20:00	第1回実行委員会 役員・会則・協定書の承認、開催方法・予算書の承認、企画実施に関する連絡と意見交換	1. 10団体13名、おうえん隊8名 2. 20団体24名、おうえん隊3名 事務局10名
8月20日 1. 13:30-15:30 2. 18:00-20:00	第2回実行委員会 企画実施に関する基本ルール説明と意見交換、冊子・ホームページに関する説明	1. 8団体12名、おうえん隊7名、事務局7名 2. 10団体11名、おうえん隊9名、事務局8名
9月17日 1. 13:30-15:30 2. 18:00-20:00	第3回実行委員会 まちカフェ！冊子掲載内容に関する意見交換	1. 14団体21名、おうえん隊2名、事務局7名 2. 13団体17名、おうえん隊3名、事務局8名
10月15日 1. 13:30-15:30 2. 18:00-20:00	第4回実行委員会 各参加団体の進捗状況共有、おうえん隊企画説明、「まちだ子どもアクション」意見交換、冊子・HP作成状況共有	1. 15団体20名、おうえん隊2名、事務局8名 2. 15団体21名、おうえん隊3名、事務局7名
11月19日 1. 13:30-15:30 2. 18:00-20:00	第5回実行委員会 開会式で実施する「緑のバトントークリレー」体験、おうえん隊企画連絡、当日注意事項、「まちだ子どもアクション」現状報告、PRタイム	1. 14団体14名、おうえん隊7名、事務局7名 2. 15団体19名、おうえん隊3名、事務局8名
12月5日 9:00-9:30	開会式 市長挨拶VTR、「緑のバトン」トークリレー（団体PR）	団体22名、おうえん隊2名、事務局6名
11月19日 1. 13:30-15:30	第6回実行委員会 振り返り動画の視聴、振り返り意	1. 10団体10名、おうえん隊7名、事務局8名

2. 18:00-20:00	見交換、「まちカフェ！」アワード 意見交換	2. 10団体11名、おう えん隊4名、事務局8名
2021年1月2 2日 18:00-19:30	打ち上げ会 「まちカフェ！」報告、「まちカフ ェ！」アワード発表・表彰	17団体21名、ゲスト3 名、おうえん隊8名、事務局 11名

すべてオンラインにて実施

▼第4回実行委員会の様子



V. 「まちカフェ！」参加団体向けスキルアップ講座報告

開催日時・会場	内容	参加人数
7月14日 1. 13:00-14:30 2. 15:00-16:30 武相庵	超初心者のための「Zoom と Facebook はじめて講座」 講師：清水静香氏（ネット for シニア） Zoom 会議に参加する方法、Facebook アカウントの取得方法	1. 14名 2. 24名
9月4日 1. 13:00-14:30 2. 15:00-16:30 町田市地域活動サポートオフィス	超初心者のための「Zoom と Facebook はじめて講座」第2弾 講師：清水静香氏（ネット for シニア） Zoom 会議に参加する方法、Facebook アカウントの取得方法	1. 14名 2. 25名
9月7日 1. 10:00-12:30 2. 14:00-16:30 町田市地域活動サポートオフィス	「初心者さん向け動画作成講座」 講師：二神友造氏（へりぽーと） Windows 10 標準アプリ「フォト」を使用した動画作成講義、各自で団体紹介動画作成、完成動画視聴	1. 15名 2. 25名
9月11日 1. 10:00-12:00 2. 13:30-15:30 町田市地域活動サポートオフィス	「主催者のための Zoom 開催方法きほん講座」 講師：清水静香氏（ネット for シニア） Zoom 会議の主催者（ホスト）の画面操作解説、ミーティング招待の実践、質疑応答	1. 14名 2. 24名

VI. 「まちカフェ！」学生おうえん隊実施報告

1. 目的と背景

学生の力で「まちカフェ！」出展団体の活動と当日のイベントを盛り上げること、学生と団体が協働することを目的に、相原を拠点に地域活動を行う学生団体へりぽーとが実行委員会へ企画を提出し実現。へりぽーとは、学生・団体の募集、マッチング、学生や団体のサポート、振り返り会実施等、学生と団体をつなぐ事務局機能を担った。

2. 参加学生と受け入れ団体

参加学生… 法政大学1年生2名、2年生1名、3年生2名、桜美林大学3年生1名、
神奈川大学3年生2名 計8名

受け入れ団体…町田市ユニカール協会、NPO法人町田すまいの会、
町田市地域活動サポートオフィス 計3団体

3. スケジュール

7月1日ー	学生おうえん隊募集開始
7月16日ー	学生おうえん隊受け入れ団体募集開始
9月1日	NPO法人町田すまいの会と学生おうえん隊との顔合わせ
9月7日	町田市ユニカール協会と学生おうえん隊との顔合わせ
9月9日	町田市地域活動サポートオフィスと学生おうえん隊との顔合わせ
10月3日	学生おうえん隊×へりぽーと定例会①
10月中旬	団体向け・学生向けチェックシートを使用した振り返りの実施
11月1日	学生おうえん隊×へりぽーと定例会②
11月22日	学生おうえん隊×へりぽーと定例会③
12月4日 ー13日	「まちカフェ！10days」イベント実施 「まちカフェ！10days」取材
2021年3月9日	学生おうえん隊×受け入れ団体×へりぽーと振り返り会

*その他学生おうえん隊と受け入れ団体にて何度も打ち合わせを行い、へりぽーとも適宜サポートや声かけを行った。

4. 学生が行った取り組み

<町田市ユニカール協会>

12月5日(土)、12月12日(日)に実施されたオンラインイベント「陸上版カーリング『ユニカール』って何?作戦で参加しよう!」に向けたイベント企画・運営・広報等



- ▲ 受け入れ団体（町田市ユニカール協会）が実施したオンラインイベント「陸上版カーリング『ユニカール』って何?作戦で参加しよう!」の様子。明るい雰囲気での司会進行もつとめた学生たちは大変好評だった。

<NPO法人町田すまいの会>

- ・「まちカフェ！」実行委員会参加、オンライン相談会開催のための Zoom レクチャー、Zoom マニュアル作成。
- ・団体のホームページ更新、イベントの申込フォームの作成などイベント広報の拡充。



- ▲ 受け入れ団体（NPO法人すまいの会）が実施した「終の住処を考えよう！一高齢期の暮らしについて」の様子。イベントの申込フォームの作成などイベントの広報を学生がつとめた。

<町田市地域活動サポートオフィス>

- ・「まちカフェ！協働ガイドブック」「事例からみる協働のヒント」掲載団体への取材
- ・町田市生涯学習センター壁面の「まちカフェ！」PRブースの企画・作成
- ・「まちカフェ！10days」期間中の各イベントへの取材



- ◀町田市生涯学習センター壁面における PR ブースを作成。企画から制作まで全工程を学生が行った。

5. 活動の振り返り

<中間振り返り>

10月中旬学生の成長を確認することを目的にチェックシートを使用した中間振り返りを実施。

学生の「団体や地域への理解」、「協働にあたって身につけたい力」、「イベントの企画力」、「表現能力」、「活動中の態度」の5項目12質問について、受け入れ団体、学生本人それぞれがチェックしてヘリポーとに提出。提出されたチェックシートをもとに、ヘリポーとのメンバーで学生自身の評価と受け入れ団体の評価を比較し、学生が感じている課題や悩みを聞き出し、今後の活動方法のアドバイスをを行った。

5 とてもよくできている	4 よくできている	3 まあまあできている	2 あまりできていない	1 できていない	A 今回の協働には該当しない
Ⅰ 理解を深める					
① 団体あるいは地域のニーズを適切に理解する	5	4	3	2	1 A
② 団体の運営や目的について理解する	5	4	3	2	1 A
③ 関連する地域のネットワークや社会資源について理解する	5	4	3	2	1 A
Ⅱ 協働する力を身につける					
④ 場に応じたコミュニケーションを取ることができる	5	4	3	2	1 A
⑤ 状況に応じて周りの人に相談したり協力をしてもらったりすることができる	5	4	3	2	1 A
⑥ 団体とコラボすることに楽しみを見出すことができる	5	4	3	2	1 A
Ⅲ イベントを企画するための力を身につける					
⑦ イベントの目的に沿った資料や制作物を作ることができる	5	4	3	2	1 A
⑧ イベントに必要な資源を考え、団体と協力して準備することができる	5	4	3	2	1 A
Ⅳ 表現能力を高める					
⑨ 相手に伝わる言葉で自分の意見を述べるができる	5	4	3	2	1 A
Ⅴ 態度					
⑩ 団体のメンバーと良い関係を作ることができる	5	4	3	2	1 A
⑪ 協働する上での責任を果たす(時間を守る・言葉遣い・連絡・報告等など)	5	4	3	2	1 A
⑫ 積極的な姿勢で臨む	5	4	3	2	1 A

▲チェックシート

<学生おうえん隊×受け入れ団体×ヘリポーと振り返り会>

2021年3月9日オンラインで学生おうえん隊、受け入れ団体、ヘリポーとの3者間での振り返り会を実施。

企画や当日の司会を学生おうえん隊の中の希望者にも行ってもらい、「インターンを通してチャレンジできたこと」「活動する中で嬉しかったこと」「一緒に活動したからこそ達成できたこと」の3つのテーマでワークを行った。

参加した学生、受け入れ団体からは再会を喜ぶ声があがり、他の団体と学生の雰囲気がよく分かって良かったなどの感想があがった。

受け入れ団体からは、来年度の「まちカフェ！」でも学生を受け入れたい、学生からも「来年も何らかの形で『まちカフェ！』に関わりたい」という思いを聞くことができた。来年度以降も今回の取り組みで得たつながりや協働の芽が広がっていくよう、実行委員会で検討していきたい。



▲振り返り会の様子。終始和やかで、笑顔が溢れる会になった。

6. おうえん隊活動終了後の感想

<受け入れ団体の感想（学生を受け入れてみて）>

- ・「やってみましょう！」という前向きな行動力と素敵なアイデアにいつも心を動かされていた。出会えて本当によかった。
- ・企画、アイデア、ノウハウすべてが自分たちにとってはパワーになり、感謝している。オンラインを使用した企画を実現できたことは一緒に活動した成果だと思う。
- ・若い方たちがおうえん隊として参加することで現場の活動を知ってもらえる機会にもなりとても有益だと思った。

<学生の感想（おうえん隊を終えて）>

- ・「まちカフェ！」の準備から当日までを通して町田で活躍するたくさんの人や団体と出会うことができ、嬉しかった。
- ・地域の方々や団体との関わりを持つことによって大学の講義内だけでは学ぶことができないことをたくさん経験することができた。
- ・受け入れ団体の方が「何事もチャレンジ、未経験失敗大歓迎、みんなで楽しくやってみましょう」という言葉をおっしゃっていたことが印象的だった。これから自分自身でも楽しむ気持ちを忘れず、新しいことに挑戦していきたい。

VII. ヒアリング報告

1. 参加団体ヒアリング概要

<目的>

以下3点についての情報収集を目的として実施した。

- ・自団体の成果と成果につながったポイント
- ・本年度の「まちカフェ！」開催方法について
- ・次年度以降の「まちカフェ！」に向けての提案

<ヒアリング対象団体概要>

「まちカフェ！」実施報告アンケート回答団体の内、初参加団体／複数回参加団体、オンラインイベント開催団体／リアルイベント開催団体のバランスとアンケート回答結果の中で特に確認したい事項がある9団体を選択した。

<ヒアリング対象>

開催日時 場所	ヒアリング団体
1月12日 @オンライン	町田市ユニカール協会
1月26日 @オンライン	認定NPO法人エンディングセンター
1月26日 @オンライン	NPO法人町田すまいの会
1月30日 @オンライン	色彩心理グリーンハートラボ
2月2日 @オンライン	鎌倉古道・歴史遺産の会
2月2日 @オンライン	就労移行支援事業所 ハンドシェイク
2月3日 @オンライン	まちだ旅する絵本実行委員会
2月6日 @オンライン	まちだポールウォーキングクラブ
2月6日 @オンライン	中学校によりよい給食とどけ隊@町田
3月11日 @サポートオフィス	町田市ボランティア連絡協議会

2. ヒアリング結果

<自団体の成果と成果につながったポイント>

オンラインセミナーに初挑戦！ポイントは、リハーサルと客観的フィードバック

オンラインセミナーに初挑戦！開催後参加者や参加者から紹介された方から連絡があり次につながる大きな一歩となった。

◇ ポイント

- ・1回のイベントあたり通しで2、3回のリハーサルを行った。
- ・リアルとオンラインだと伝わりやすさが違うと思うのでそこに留意した。

- ・会員の中からはっきりと意見をしてくれる人にリハーサルに参加してもらい、参加者視点のフィードバックから、講演内容を磨いた。

コラボイベントを実施。第三者からの指摘・新たな視点は、団体を育てる機会に。

他団体とオンラインでもコラボイベントを開催。知らない人に楽しんでもらうことを意識した資料づくりができた。自団体のイベントでもその視点が活きた。

☆ ポイント

- ・コラボイベントを実施した団体から資料について客観的な意見をもらい「わかりにくい」という意見があり「前提を知らない人にも楽しんでもらう」「文字を詰め込みすぎないでわかりやすく」という点を学んだ。
- ・自団体の単独イベントの際もその点を意識して実施した。

「まちカフェ！」10days 期間中に振り返りを実施。PDCAを意識して達成感。

10days 期間中、途中で振り返りを実施し、課題や臨機応変に対応するやり方などを発見し、次に活かしていくという流れができた。(就労移行支援事業所)利用者さんの達成感は大きかった。

☆ ポイント

10日間の中で振り返りを行い、利用者さんと共にイベント企画のPDCAを回した。

学生おうえん隊の参加で団体が活性化。

- ・若い人が入ることで、元気・活気が生まれた。学生が入ってくれたことで「私たちもしっかりしなきゃ」という責任感やワクワク感が増えた。
- ・学生おうえん隊との話し合いの中で事業に興味を持ってもらえたことで、自団体のこれまでの取り組みの重要性を再認識できた。

☆ ポイント

- ・学生を受け入れるにあたり、自団体の活動の狙いをきちんと整理してわかりやすく話すことを意識した。
- ・実際に活動を体験してもらう機会を設定した。
- ・学生が意見を挙げやすい雰囲気づくりに努めた。
- ・「学生に伝える」という気持ちとともに「学生からも何かを得る」という気持ちでコミュニケーションをとった。

イベントで参加者からの意見をまとめ、その後の運営に活かす。

- ・「まちカフェ！」の趣旨を考え、単なるイベントではなく参加者から地域課題に事業をどう活かすかを提示してもらうイベントを実施、運営に活かせる意見が集まっ

た。「まちカフェ！」後、すでに解決できた課題も出てきている。

☆ ポイント

- ・「イベント楽しかったね」だけで終わらせるのではなく、次につなげていくことを意識し、参加者から出された意見を表にしてメンバーで共有し、取り組める課題から順番に実施している。

情報共有やチーム制などの工夫でメンバーの主体性が高まった。

- ・取り組むプロジェクトごとにチームを組んで進行させた。そのことにより団体の代表以外のメンバーの主体性が高まった。
- ・利用者の方が何をしたいかを中心に企画を実施して「自分たちが関わった」という声があがった。

☆ ポイント

- ・取り組むプロジェクト（イベント、広報等）ごとにチーム制を導入して、チームリーダーを立候補で決めた。
- ・チームごとのLINEグループ、メンバー全体のLINEグループで進捗などを常に情報共有することで、メンバーの参加意識が高まった。
- ・利用者さんと相談することを意識的に行い、利用者さんの「やりたい」を実現する場として「まちカフェ！」を活用した。実現への課題分析、練習などスタッフと一緒にトライアルしていった。利用者さんの達成感は大きかった。

<本年度の「まちカフェ！」開催方法について>

オンライン実行委員会について

- ・仕事帰りに参加&途中参加OKといわれていたので、気軽に参加できた。
- ・子育て中なので、オンライン開催は参加しやすかった。
- ・オンラインは正面から参加者の顔を見ることができるので、同じ机の数名のみと顔を合わせる対面の会議よりも、多くの人の顔を認識することができた。
- ・以前よりも市内の団体を知れる機会になった。実行委員会の自己紹介は「人から団体を知る」機会になった。
- ・昨年度より団体間で話しやすくなった
- ・コロナ禍でオンライン会議が続くと思うが、実際に会って話をしたいと感じる。
- ・ブレイクアウトルームを1時間半くらいとっても良かったのかなと思う。
- ・オンラインだと意思の疎通があまりできないと感じている。まとめてくれる人がいるので話はまとまったが。
- ・オンラインだと終了後の立ち話ができないのが残念。

- ・Zoom会議の参加方法について修得ができ団体内で活用できるようになった。

「まちカフェ！」10daysについて

- ・障がいのある方や学生など多様なボランティアと同じ空間でモノづくりを通じてつながれて感動した。
- ・市役所での一斉開催だと子ども連れ親子がメインで、自分たちの対象者（高齢者）との出会いは少ないと感じるので、今年度の実施方法はよかった。
- ・活動の拠点にお客様がきてくれることでメリットがあった。
- ・10日間の中で振り返りができ、イベント企画のPDCAが回せた。
- ・市庁舎でやった時はおおざっぱな団体認知とお隣ブースとの出会いが目標だったが、今年度は団体の本丸的な内容をしっかり伝える場になった。
- ・市庁舎開催の際は、年に1回会員が集う場になっていたが、オンラインだと（特に高齢の会員）それができず、団体としても課題と感じる。
- ・本年度は、予約制のワークショップ行い予定が組めたので安心して取り組めた。一方不特定多数の出会いができた市庁舎でのワークショップもメリットがあった。

その他

- ・動画作成講座に参加してとてもよかった。
- ・ライトアップをしたいと思っていたがこれまで叶わなかったが、今年はライトアップをしたいと企画書に記載したことをすぐに取り上げてくれ実現できた。
- ・ボランティアでの取り組みのやりがいと負担のバランスが難しい。

<次年度以降の「まちカフェ！」に向けての提案>

開催方法

- ・市庁舎を開放するというのは他自治体ではないのでなくしてほしい。ただ、オンラインでやるというのもこれからの時代には必要なことで、両方あった方がいい。
- ・〇ごと大作戦や生涯学習センターまつりなどを統合して「まちだ大まつり」的にやってみてもいいのではないか？
- ・オンライン組と屋内組と屋外組に分けてもいいのではないかと思う。
- ・市役所開催と分散開催の「ハイブリット開催」が良い。
- ・市役所に来る人は中心部の人が多かった印象。少し離れたところに住んでいる人のアクセスはあまりなかったのが今年のやり方も良い。

広報

- ・Twitterをもっとうまく活用できればよかったのでは？
- ・通年で月に1回でも「まちカフェ！ニュース」（A4両面サイズもしくは、広報まち

だ)で、コミュニケーションをとっていくといいのでは?せっかく12月で盛り上がったのに、空白期間ができるのが残念。

その他

- ・おうえん隊に当日写真撮影など協力してもらえるとよかった。
- ・あらかじめ協働カテゴリ（例：福祉とスポーツ／子育てとスポーツ）を「見える化」しておくとうい。
- ・実行委員会前に参加団体の情報資料を提供してもらえると協働につながりやすい。
- ・実行委員会以外の交流の場（テーマ別わいがや会）が開催されるといい。
- ・2月以降の空白期間に交流、情報交換の場があるといい。
- ・ライブを実施したい団体がライブイベントを開催したらどうか。大勢の観客が来なくても発表の場を持つことが大事。

以上